

教材・支援機器活用実践事例(特別支援学校)

実践年度・タイトル		平成28年度 作業的活動のリワードシステム(報酬・ごほうび)
授業について	教科名等 (該当する教科名等を選択。当てはまらない場合はその他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input checked="" type="checkbox"/> 自立活動 <input checked="" type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他()
	単元・題材名	リサイクル活動しよう
	授業の目標	空き缶やペットボトル、古紙、牛乳パックなどのリサイクル活動を通して、様々な仕事への興味・関心を高めことや適切なコミュニケーション方法を獲得すること、与えられた役割を果たすこと等を通して、自己有用感を高めることをねらいとする。
	観点別学習状況の評価の観点 (教科の特性により設定した観点がある場合は「その他」を選択し記載。)	■「知識・理解」 <input type="checkbox"/> 「技能」 <input type="checkbox"/> 「思考・判断・表現」 <input checked="" type="checkbox"/> 「関心・意欲・態度」 <input type="checkbox"/> その他()
学習集団と子どもの実態	学校・学部・学年・人数	■特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない 第4学年 1人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input checked="" type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子どもの課題 (特性・ニーズ)	■見る ■聞く ■話す ■読む <input type="checkbox"/> 書く <input type="checkbox"/> 計算する <input type="checkbox"/> 推論する <input type="checkbox"/> 運動と姿勢 <input type="checkbox"/> 日常生活活動 ■不注意 <input type="checkbox"/> 多動性・衝動性 ■社会性・コミュニケーション <input type="checkbox"/> 覚える・理解する <input type="checkbox"/> その他 ・周囲の状況が気になっていたり、気持ちが乗らなかつたりするときなどは、活動に集中できない場面が見られる。 ・与えられた役割に積極的に取り組むことができる。 ・リワードシステムについて理解し、報酬を得られるよう努力しようとする態度が身につけてきている。
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称と画像 (使用した支援機器・教材の名称を記載し画像を挿入。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。)	お給料シート 
	活用のねらい	Aコミュニケーション支援(□A1意思伝達支援 □A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(□B1情報入手支援 □B2機器操作支援 □B3時間支援) C学習支援(□C1教科学習支援 □C2認知発達支援 ■C3社会生活支援) ・活動への意欲を高めることを目的とし、難易度の高い課題や活動の際に、リワードを意識した取組をしている。 ・活動への取組に応じて、10円カードによる報酬をもらい、余暇活動の際に、そのカードを使って買い物をする活動を行っている。その導入段階として、リワードシステムを理解することで、余暇活動の幅を広げることがねらいとしている。
授業に授お業ける展開支援	授業展開と画像 (授業の様子、ICT活用場面の画像を挿入。)	①1回の作業活動で、支援者から2枚の10円カードを受け取り、シートに貼り付ける。 ②リワードは種類があり、貯まった10円カードの枚数で異なる。どのリワードが欲しいか本人が選択し、10円カードを貯めていく。 
効果・評価	子どもの様子や変容および授業の評価	リワードを楽しみに、リサイクル活動を意欲的に取り組む様子が見られた。また、担任以外の支援者からの依頼にも快く取り組めるようになっている。 今後は、本人のリサイクル活動のスキルアップのほか、他児との場所や物の共有等にも取り組んでいくことができるよう工夫する。